

# 開教

Kaikyo

## HONEN BUDDHISM

JAPAN, HAWAII, NORTH AMERICA, SOUTH AMERICA, BRISBANE, PARIS

ハワイ  
開教区

コロナ禍における  
ハワイ開教区の活動について  
哀悼 開教使 中野寛淳師遷化

北米  
開教区

お寺の出前

南米  
開教区

ブラジルの  
コロナ禍における  
浄土宗の活動

オーストラリア  
開教地

コロナ禍における  
開教活動・七五三

フランス  
開教地

コロナ禍における  
開教活動報告

国内  
開教

国内開教活動報告  
茨城県小美玉市 清淨院  
沖縄県豊見城市 聖蓮寺



浄土宗  
Jodo Shu  
Buddhist Denomination

- 2 各開教区開教使名簿  
海外・国内開教使募集
- 3 コロナ禍におけるハワイ開教区の活動について  
哀悼 開教使中野寛淳師遷化  
ハワイ開教区開教総監 石川 広宣
- 5 お寺の出前  
北米開教区開教総監 後根 定璽  
本院主任開教使 田中 孝道
- 6 ブラジルのコロナ禍における浄土宗の活動  
南米開教区開教総監 佐々木 良法
- 7 コロナ禍における開教活動・七五三  
オーストラリア開教地主事 ウィルソン哲雄
- 8 コロナ禍における開教活動報告  
フランス開教地主事 高僧 光隆
- 9 国内開教活動報告  
茨城県小美玉市 清淨院  
住職 堤 忠春  
沖縄県豊見城市 聖蓮寺  
住職 大和田 聖二
- 11 ご挨拶  
浄土宗開教振興協会会长  
浄土宗宗務総長 川中 光教
- 12 浄土宗開教振興協会  
令和元年度 会員名簿
- 17 第10回 公開カンファレンス～未来の布教へのヒント～  
教化ツールとしてのインターネット  
—海外開教と国内教化の現場で—
- 18 浄土宗開教振興協会 事業報告  
浄土宗開教振興協会 役員名簿
- 19 浄土宗開教振興協会  
令和元年度 決算書
- 21 令和元年度 教区别別正会員比率
- 22 会員の声  
海外開教や開教振興協会への思い  
浄土宗開教振興協会 副理事長 田中 康道
- 編集後記
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

# 開教使名簿

令和3年2月末日現在

## 海外開教区

	氏名	赴任寺院
開教総監	石川 広宣	コロア浄土院・カパア浄土院
ハワイ	高野 明宏	ハワイ浄土宗別院
	江崎 晃司	ハレイワ浄土院
	宮寄 潤心	ヒロ明照院・カーチスタウン浄土院・ハカラウ浄土院
	ワジラワンサ舜爾	ハマクア浄土院・ハヴィ浄土院・コハラ浄土院
	原 源照	ラハイナ浄土院
	原 潮音	ワイルク浄土院・カフルイ浄土院

	氏名	赴任寺院
北米	開教総監	後根 定璽
	開教使	田中 孝道
南米	開教総監	佐々木 良法
	開教使	稻場 明忠
		山田 英規
		櫻井 聰祐
	大江田 晃義	クリチバ日伯寺

## 海外開教地

氏名	指定地域
ウィルソン 哲雄	オーストラリア・ブリスベン
高僧 光隆	フランス・パリ

## 国内開教地域

国内開教地域	寺院名	国内開教使
茨城県小美玉市及びその近郊	清淨院	堤 忠春
沖縄県豊見城市及びその近郊	聖蓮寺	大和田 聖二

# 海外・国内開教使募集

世界が舞台です！

ハワイ、北米、南米の3開教区、オーストラリア（ブリスベン）、フランス（パリ）の両開教地が浄土宗の海外開教の拠点です。

開教最前線で活動する事により、僧侶としてはもちろん、自分自身の能力向上ともなるはずです。語学力ももちろん必要ですが、大事なのはあなたの「やる気」です。興味のある方は下記までぜひお気軽にお問い合わせください。

## 国内開教使募集！

浄土宗では、社会情勢の変化や人口流動に対応した教宣の拡張を図ることを目的に、国内開教地域を設け、国内開教使を任命しています。国内開教使は、指定された地域において新寺を建立し、布教・教宣活動に日々尽力されています。

あなたも国内開教使になりませ

んか？

ご希望される方は、下記までお問い合わせください。

## 浄土宗社会部

お問い合わせ先

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4

Tel.03-3436-3351(代) Eメール kaikyo-info@jodo.or.jp

OTSUTOME

# コロナ禍における ハワイ開教区の活動について

ハワイ開教区開教総監 石川 広宣



2020年3月6日、ハワイで最初の新型コロナウイルスの感染者が確認。クラスターが発生したクルーズ船の乗客でした。それまで多くの人は、不安はあるものの対岸の火事のように傍観し、ごく普通の生活が営まれていました。しかし、3月13日、米大統領による国家非常事態宣言の発令と時を同じくして、ハワイに検査キットが到着。状況が一転し、以後連日各島で感染が報道され、気づいてみれば瞬く間にコロナの渦中に巻き込まれていきました。

この未知なるウィルスの拡大に対しても、州や郡など行政は行事を延期や中止にしたり、厳しいガイドラインを更新したりして朝礼暮改のように対応してきました。3月23日、ハワイ州知事が自宅待機命令を下し、以後4月30日まで、ロックダウンが続きました。この政令は、

2020年3月6日、ハワイで最初の新型コロナウイルスの感染者が確認。クラスターが発生したクルーズ船の乗客でした。それまで多くの人は、不安はあるものの対岸の火事のように傍観し、ごく普通の生活が営まれていました。しかし、3月13日、米大統領による国家非常事態宣言の発令と時を同じくして、ハワイに検査キットが到着。状況が一転し、以後連日各島で感染が報道され、気づいてみれば瞬く間にコロナの渦中に巻き込まれていきました。

刑罰が違反者に課せられる厳しいもので、医療関係者や生活に必要な従事者を除いて、全ての人が自宅待機を余儀なくされました。勿論、ビーチや公園など公共の施設も閉鎖という前例のないもので、各寺では行事の開催にあたり難しい判断が続きましたが、基本的には以下の3点が活動の選択肢にあつたと思います。

1. インターネットなどハイテクの活用による会議や法要をオンライン開催
2. 感染予防に細心の注意を払い政令を順守して最小人數で行事を実施。電話等いわゆるローテクの利用。
3. 安全のため活動を中止し自己研鑽など充電期間とする。

この間、コロナ・ホビーと呼ばれる趣味の追求やポスト・コロナへの計画・準備期間にあります。

現在、当たり前のようにオンラインが行なわれています。

別院では高野明宏開教使が、高齢の参列者のため日曜礼拝を行なってきました。3月23日、ハワイ

刑罰が違反者に課せられる厳しいもので、医療関係者や生活に必要な従事者を除いて、全ての人が自宅待機を余儀なくされました。勿論、ビーチや公園など公共の施設も閉鎖という前例のないもので、各寺では行事の開催にあたり難しい判断が続きましたが、基本的には以下の3点が活動の選択肢にあつたと思います。私はこの間、ネットを利用した会議や法要は、多くの寺院にとって、時間とお金の節約をもたらすとされています。私もこの間、法話の配信を毎週続け登録者数を大きく伸ばすことに成功し、動画配信により収益が得られるようになりました。しかし、問題はネットを使わない高齢者への対応です。コロナ禍は、高齢者や幼児など社会的弱者にしわ寄せが及んでいます。



コハラ浄土院でもロックダウンで、多くの不用品が寺院にもたらされ、バザーが行われた。

継続し、オンライン対応の私と分担することによって教化活動を続けて参りました。一方、

第一波で、多くの人が実益のある趣味を追求して、手作りの布製マスクの制作をするなどアロハ精神ともいえる相互扶助の活動も見られました。特に、ハレイワ浄土院とコハラ浄土院では、自宅待機令中の掃除などで不用品となつた中古品の受け入れ窓口となつて、活動を停止したホールを倉庫代わりとする

を継続して行つております。

その他、具体的には枚挙に暇ありませんが、コロナ禍にあつて最良の身の処し方は、「晴耕雨読」に尽きるのではないでしようか。これは、晴れた日には、田畠を耕し、雨の日には家中で読書するという、まさに自然に従つた理想的な生き方です。厳しい現実を変えるのはなく、自分が今できることを試行錯誤して現実を受け入れていく。

ここで大量の中古品が集まりました。そこで、ロックダウン明けに、江崎晃司開教使が、数年来行つてきたガレージセールを大々的に展開。また、ラハイナ浄土院でも、境内地を地域に開放し現地の野菜などを販売するファーマーズ・マーケット

人類が長い歴史の中で、経験によつて獲得した偉大な智慧であります。つまり、この四文字熟語には、これまで人類が自然と共に困難を乗り越えてきた事実とヒントが示されているのだと思います。勿論、これは全てではありません。コロナの大波を乗り越える人が大勢いる一方で、コロナ禍は、多数の人命を奪い実に多くの人に致命的な打撃を与えていることを決して忘れてはならないと思います。

最後に、当開教区に対し、様々なご支援ご厚情を下さった浄土宗、開教振興協会の関係各位に紙面を借りて感謝申し上げます。



ラハイナ浄土院の境内で開催の  
ファーマーズ・マーケット



ハレイワ浄土院ガレージセール

## 開教使中野寛淳師遷化 哀悼



マハロ 中野先生。



中野先生は、1952年6月大阪に生まれ、大阪音楽大学卒業後、河合楽器に就職。その後、大阪芸術大学、華頂短期大学で音楽講師として教鞭をとる傍ら、音楽を通じて知り合つた京都教区西運寺の小坂井淳弘住職に師事し、得度。2006年12月に浄土宗教師資格を取得されました。

2009年3月、当開教区主催の音楽法要研修会に講師として来島されたのが縁でハワイ開教を志望。翌年3月には開教使としてハワイ浄土宗別院に赴任されました。赴任直後から子供たちのために合唱団を組織し指導。後に、先生の音楽の才能に感激した婦人会は、先生のために特別にグランドピアノを購入し本堂に設置。以後、先生は、法要などでピアノを最大限に活用し、心の琴線に触れる調べで多くの信徒を魅了されました。先生は、日頃から美しい音へのこだわりを口にし、日曜礼拝等で信徒に向かってお念仏をお唱えするお姿は、まるで合唱団の指揮者のように思われました。ここに在りし日のお姿を偲び哀悼の意を表します。

コロナ禍の様々な規制の中、葬儀の執行は難しい状況にありました。ハワイ浄土宗別院で中野先生を葬送。参列者を制限し、YouTubeによるライブストリームを併用した教区葬となりました。先生の生前そして葬儀に際しご厚情を下さつた皆様、本当に有難うございました。

合掌

北米開教区開教総監  
本院主任

後根 定璽  
田中 孝道

# お寺の出前



施餓鬼会

カリフォルニア州では昨年3月以来、スーパー・医療等の生活に關わる業種を除き営業制限並び外出制限が敷かれ、寺院も大多な影響を受けています。当院でも、昨年の春彼岸は開教使のみで勤め、その後の盆施餓鬼・秋彼岸・十夜・除夜念佛会・修正会そして今年1月の御忌と、定例法要はすべてZoomとFacebookで生配信する形で勤めました。

浄土宗で最上の宗教体験は共に念佛を称えることですが、法要の生配信はまったく異なる宗教体験です。実践する前は、PC画面上でも同時に念佛を称えられるものと誤解していました。しかし、携帯電話で二人同時に話せないよう、本堂の声と参加者の声は全く揃いません。「PC画面上でも全員の念佛の声が聞きたい」という発信者側の希望を優先しては、一人一人の受信者にとって良い

宗教活動に制限を受け、また他宗教・多宗派の動向を見て改めて感じることは、「時と場所を選ばず誰でも行える念佛は、いかに他に類のない実践的な仏道修行であるか」ということです。コロナ禍により、現在は

お勤め並び英日語でメッセージの生配信を始め、今日も続けています。開始当初の反応は單なる配信視聴に留まるものでした。昨今は有難いことに、毎週画面でご本尊に対面するからか、「ご本尊前に」と供物を届ける方々が見られます。自家での「個人の念佛」の継続習慣が徐々に「供養」という形でご本尊との関りを育むことを改めて学ぶ思いであります。

信徒がそれぞれ自宅で念佛を称えるよう働きかけを続けています。そのためには、檀家制度の伝統のない当地では、何より信徒一人一人との信頼を築くことが不可欠です。まずは寺院が現状で可能なかぎり活動を行わねば信徒に安心いただけないと心得、昨年4月より毎週

土曜・日曜にFacebookでお勤め並び英日語でメッセージの生配信を始め、今日も続けています。開始当初の反応は單なる配信視聴に留まるものでした。昨今は有難いことに、毎週画面でご本尊に対面するからか、「ご本尊前に」と供物を届ける方々が見られます。自家での「個人の念佛」の継続習慣が徐々に「供養」という形でご本尊との関りを育むことを改めて学ぶ思いであります。



秋彼岸会



コロナ禍の危機に直面した  
ブラジルでは、疫病自体の特殊  
性に加え地理的および文化的  
要因の問題が噴出した。この  
世界的災厄に巻き込まれて10カ  
月、全世界の感染死亡者数の約  
10%に達する20万人以上が犠牲  
となり、今もなお増え続けてい  
る。この悲劇的な状況下、予防  
接種の開始は、感染状況が減退  
し正常化に確実に向かう安心感  
をもたらしている。幸いにもこの  
国は、すでに熱帯病による科学  
的経験が豊富であるが、その反  
面、ワクチンの生産、流通そして

# ブラジルの コロナ禍における 浄土宗の活動

南米開教区開教総監 佐々木 良法



お勤め

当南米開教区の4寺院全  
てが、公衆衛生面で比較的恵まれ  
ているブラジル南東部及び南部  
に位置するが、感染対策への支  
援が不要というわけではない。  
特に別院日伯寺のあるサンパ  
ウロやパラナ州都クリチバは、  
同国の科学的・経済的中心地で  
あるが、感染対策や物流の推進

大陸規模の接種には、拙速な  
実施という文化的要因と対決  
せねばならない。

ブラジルのような広大な国  
では、問題の地理的理 解が重要  
である。

マリンガの高齢者福祉和順会  
は、行政の厳しい指導に従い  
ながらも、有志が支援活動を  
楽しんで行っている。地域社会  
と当局の惜しみない協力に、  
運営者の一人として感謝の念に  
堪えない。



マスクでハイチーズ!



バザー

個人の要求が集団的必要性に  
道を譲る今の時世に、この困難  
の克服を誰一人  
こぼさず享受させ得る仏教の大  
きな可能性を、  
当開教区の諸活  
動を通じて確信  
している。

には不可避である人口過密と  
社会経済的格差の問題が慢性  
的に存在する。

サンパウロ別院とクリチバで

は、この大都会の厳しい感染  
事情の中、精力的に運営資金を  
捻出する活動を行っている。

この活動は組織全体の生存に  
不可欠である一方、お寺が人々を  
導く大切な意義を知らしめて  
いる。

対面制限のある法務活動は、  
いみじくもお寺の努力と貢献度  
を檀信徒家族に明示することと  
なった。イビウーナとマリンガ  
ではオンライン法要により、  
遠方や他国に住む家族、友人の  
参加に新たな可能性を開き、  
思いやりと智慧で、困難にあえ  
ぐ檀信徒との団結につとめて  
いる。

日常の始まりの兆しが見えた  
に何が必要かを明らかにした。  
ワクチン接種による日常の  
復帰、というよりむしろ新しい  
精神は、急場しのぎでなく、  
大きな痛みを伴つて得た教訓  
として我々には不可欠である。

マリンガの高齢者福祉和順会  
は、行政の厳しい指導に従い  
ながらも、有志が支援活動を  
楽しんで行っている。地域社会  
と当局の惜しみない協力に、  
運営者の一人として感謝の念に  
堪えない。

# コロナ禍における 開教活動・七五三

オーストラリア開教地主事 ウィルソン 哲雄

2020年、コロナウイルス  
によって世界が荒廃され、オーストラリアでは280000を  
超える感染者数があり、900を  
超える死亡者数がありました。



七五三法要

私達すべてに大きな影響を与え、  
働き方、旅行、学習方法や他者  
との繋がりをも変えました。  
そのため、阿弥陀寺における  
行事も中止せざるを得ません  
でしたが、いくつかは少し方法  
を変えるだけで続行すること  
ができました。

3月、まだ QLDにあまり影響  
がなかつたころ、ゴールドコースト  
の Multicultural Centre Gold  
Coastで通常通り東日本大震災  
の法要を行うことができま  
した。また、阿弥陀寺で秋の  
お彼岸会も催すことができま  
したが、3月末には状況が大幅  
に変わりました。

4月、この致命的な疾病的感染  
を最小限に抑えるため、クイー  
ンズランド政府は細かい規則や  
制限を設けました。ロックダウン  
の始まりです。学校、お店、職場、  
レストランでの飲食などが5週  
間閉鎖されました。外出は必要

最低限にかぎられ、それ以外は  
自宅から出ることは禁止され  
ました。そのため、阿弥陀寺での  
行事はすべて保留になり、法事  
が1件中止されました。花祭り  
や寺子屋も中止になりました。

5月、ロックダウンは終わり  
ましたが、まだまだ人々の動き  
には制限がありました。その  
時期に日本人の葬儀が2件あ  
り、執り行うことはできま  
したが、2、3人しか参列するこ  
としかできず、他の参列者は、

ZOOMなどで葬儀を見ていま  
した。阿弥陀寺にも5人まで  
しか訪れることができない条件  
付きでしたが、法事は可能で  
が法です。この困難な状況を乗  
り越える方法—それは、お念佛

を唱えることです。

4月、この致命的な疾病的感染  
を最小限に抑えるため、クイー  
ンズランド政府は細かい規則や  
制限を設けました。ロックダウン  
の始まりです。学校、お店、職場、  
レストランでの飲食などが5週  
間閉鎖されました。外出は必要



東日本大震災法要



お彼岸会

が開催できました。

七五三はどんな時でもおめで  
たい行事です。今回は、5歳の  
男児、きいこ君です。この式を  
通して、きいこ君と阿弥陀寺  
との繋がりが確かなものになり  
ました。着物姿は格別にきれい

でした。今回は、ブリストンで  
KimonoYasanという着物の貸  
衣装屋を営むHinzeさん  
に着付けをしていただきま  
した。今後の七五三の協力を申し  
出てくれた彼女に感謝します。

昨年は、物事は変わらない  
ことを当然だと思っていたこと  
に気づかされました。全てに

おいて、常に変化がある状態で、  
その都度その状況に合った  
調整が必要になるのです。これ  
が法です。この困難な状況を乗  
り越える方法—それは、お念佛

を唱えることです。

# コロナ禍における開教活動報告

フランス開教地主事  
高僧 光隆



私たちが住んでいるこの世界には戦争、紛争、争いが絶え間なく続いている。また自然災害を受け困窮の地域、町、村々がある。生命の不安を抱え、圧制、暴力、貧困、飢餓で苦しんでいる人たちがいる。誰もが日々それぞの問題を抱えて生きている。

私たちはいかに生きるべきか。人が人として生きるということは如何なることか。幸せに生きるとは如何なることか。お釈迦さまは人の善なる道を求め、歩まれ、その法を説かれた。そして素晴らしいお弟子の方々によつてその教えは多くの国々に時を超えて伝えられた。もし無かつたら、また無くなつたら世界は、私たちはどうなうなあの方、生活、生き方をしているであろうか。そんなことを考えたことがあるだろうか。私たちには平和で人々が幸いに日々を過ごすことができる世界、社会を建設するようその教えを学び、生かし、そしてその教えを伝えていくべき努めようではないか。たとえそれが小さな活動でもその輪が広がるように。

フランスの開教地「淨土宗」ヨーロッパ仏教センター」の活動、  
2020年は初春より世界で covi-d-19禍が生じ、日に日に感染者が増大していった。フランス政府は3月中旬より5月中旬、10月下旬より12月中旬の2度のロックダウン政令を施行する。

3月・春彼岸会、4月のお釈迦さまの誕生祭・花まつりはロックダウンで中止する。

5月は増上寺で開かれる24時間不断念仏会。ロックダウン状況下、当協会拠点アコンにて一人一時間のお念仏をお召えする。

6月ないし7月は協会拠点の親睦BBQをするのが、アコンでメンバーが集い、恒例ロックダウンは解除されたものの大事をとり、控える。

8月・ご先祖を敬い、感謝のお盆。メンバーと相談し開催。多くの方が集われ、和やかなお盆法要になる。

9月・秋彼岸法要会。清淨華院で行われる24時間不断念仏会に参加する。毎回、腰かけて

大恩ある清淨華院法主であった真野海台下の一周年忌法要をメンバー一同と厳修する。

10月・十夜法要会はcovid-19禍の下旬より二度目のロックダウン施行。

12月・報恩感謝法要会。12月の半ばよりロックダウンの条件が緩和される。メンバーの方と相談し開催することにする。新しい年を迎えるにあたり、一年無事に過ごさせていただいたすべてのご恩に感謝し、また亡くなりされたメンバーの方々、ご家族、ご友人の方々のご冥福を祈り法要をする。

令和三年一月、新年初参り・互例会。新年を迎えての初勤行、お念仏を修する。その後、参加者一人一人新年の挨拶、本年の計、思いなどを語り、お屠蘇をいたたく日本式新年セレモニーを行う。covid-19禍のため早めにお開きとする。

その他の行事・7月下旬・私たちのメンバーにフランス人で居合道免許皆伝の方がいらっしゃる。そして嚴選のお弟子たちがいる。その彼が新居に新しく道場を造られ、ご希望で開眼供養を行う。神仏一体の道場だ。式の後、心技体の見事な居合道の披露が行われた。

この近年当協会の発展に寄与された五人の方が逝去された。誠に寂しい思いです。この紙面をお借りし、その皆様のご恩に感謝し、合掌、お念仏を申し上げます。

現在もcovid-19禍は依然収まらない状況だ。政府からの発令を尊重し、メンバーの方々と相談し「仏教の集い」活動を行おうと思っている。

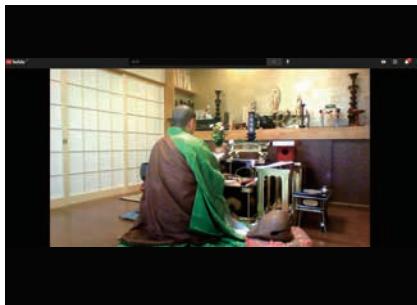
2021年、皆様のご健勝、幸いをお祈り申し上げます。皆様のご協力、ご援助をお願い申し上げます。



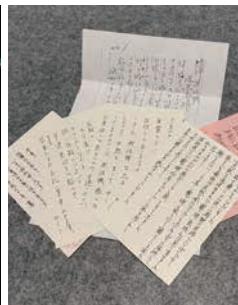
秋彼岸会 真野台下一周年忌法要

茨城県小美玉市  
清淨院住職  
堤 忠春

少人数でのご法事



YouTubeでの配信



お礼の手紙

## コロナ禍における現状



当寺にとつてもコロナ禍の影響は言うまでもありません。気軽に立ち寄って頂ける礼拝所を目指してきましたが、その取り組みの多くはコロナによつて遮られています。

毎月の行事には必ずお越しになられた方、月参りを希望されていた方も、今は大事をとつてか足が遠のいてしまつた方がほとんどです。

人に会えないという状況が続けば、寺院運営にも大きく影響します。当寺の対策としては、以前より続いているインターネットやSNS、手紙による伝道化にさらに力を入れるという事でした。

コロナ禍でも  
相談者は訪れます

今後も含め広く受け入れられるには時間がかかると思いますが、何もせずにいるよりは、チャレンジするという精神が大事であり、準備をしておくことは無駄ではないかと思います。

当寺のスタンスは  
コロナ禍でも変わりません

の方からは、遠く離れていても同じ時間を共有できたと喜びのお言葉を頂きました。もちろん、そうした対応策は賛否あるようですが、個人的に遠方の方々と繋がる事ができる良い方法だと思っておりましたし、コロナ禍における繋がりのツールだと考えております。

今だからこそ繋がりをつくり、お会いできない方々との距離を少しでも近く保つことが大事なのではないかと考えています。今こそWebだと思います。

第三波以降、各地で緊急事態宣言が発令されました。感染拡大の影響は計り知れない脅威です。

私共としては一日でも早い

念するばかりです。

当寺には長年児童教育の現場で働いてきた専門家がおります

ので、子育ての相談に関しては

南無阿弥陀仏

合掌

コロナ禍の終息を祈

夕暮れの霞ヶ浦から見た筑波山

多くの時間を妻に協力して頂いております。

また、第一波が落ち着いた頃に、ご近所さんや友人等を集め、少人数でのCafé chaud(お茶会)やオンラインお茶会、ストレッチクラブ等の対応をして頂きました。コロナ疲れで知らないうちに様々なストレスも抱えています。それらの解消を目的としました。

さほど多くはありませんが、今まで同様に相談等もあります。最近は子育てや働き方に悩む方が増えていくようです。これもコロナの影響でしょう

兄弟に法事の様子を見せたい」という方も現れました。

信徒様が自ら法事の様子を撮影し、海外にいらっしゃるご兄弟にオンラインで映像を送るという方式です。ご兄弟

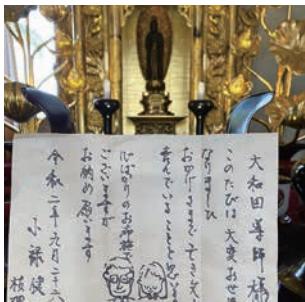


# 沖縄県豊見城市 聖蓮寺

住職  
大和田 聖二



お勤め



メッセージ



会議の様子

コロナ禍における  
開教活動



「申し訳ないのですが、来週の法事のキヤンセルをお願いします…」

昨年より、猛威を奮い続けているコロナウイルス。今年に入つてもその勢いは衰える事無く、日本国中に暗い影を落としている。

冒頭のセリフは、感染を恐れ御法事のキヤンセルをされた方からの電話である。

二〇二〇年四月七日。コロナウイルスによる第一回目の緊急事態宣言が発令された。

「大変な事になつた」

率直にそう思つた。未知のウイルスに對してのソレと、今後の布教活動に影響していくだろう不安感にぞわりとしたのを覚えてる。案の定、企画していた花まつり・近隣との交流会・その他イベントは中止を余儀なくされた。

しかし、この頃はまだ未知のウイルスを楽観視していたようだ。この後から御法事キヤンセルの電話が続いた。

葬儀でも、密を避ける為和尚を呼ばず、家族だけで弔う形式が増えてきた。沖縄は檀家制度が無い為、戒名を頂く想いも薄く、読経なしでもかまわないという風潮に拍車がかかった。どうしたらいのが分からなくなり、内地の同期の住職達と連絡を取つてみる。こちらも同じだ；と、開教をするには厳しい状況に皆頭を悩ませていた。

悩んでいるうちにお盆の時期になつた。数年布教活動をしてると、お檀家さんと呼べる方々もできたので、その方々へ本尊の前で棚経をしている様子の動画をメールで送つた。依頼された棚経ではなく、数も少ないでのお布施は頂かなかつた。

お布施の件には賛否両論あると思うが、皆喜んでくれ「御法事をすることを躊躇していたが、やはりお願ひしたい」との声を多數いたいた。そこから、年忌を迎える親族を紹介して頂いたりもした。このことから、待つてゐるだけではなく行動をおこさねば…と思いつき、月ごとに年忌を迎える方々へ封書を



お参り

送つた。電話で「年忌ですがどうします？」と話すと嫌がられる事がある。と同期から聞いていたので封書にした。これが功を奏した。封書を見た方々から連絡がくるようになつたのだ。「躊躇していたけど、手紙を見てやつぱり大和田さんに来てもらいたいよ」と言われ胸が熱くなつた。

今年に入り、主要都市で再度緊急事態宣言が発令された。外国からの変異株も始め、今後の経済状況は暗いままだ。その中で開教として今出来る事は、今までの出会いを大事にし、地域を見守る事ではないかと思う。また、ネット環境の急速な発達に伴いこれを活用した活動ができる模索中である。兎に角、いまは一日も早いコロナウイルスの収束を願うばかりである。

# ご挨拶

浄土宗開教振興協会会長  
浄土宗宗務総長

川中 光教



コロナ禍において各開教区・地域、また国内各地にて日夜教化に取り組んでいただいている皆様に、心より御礼申し上げます。

宗務総長就任時、私は布教にはグローバルとローカルの両方の視点が必要ではないかと考えていましたが、一年前の新型コロナウイルス感染症発生より社会情勢が一変し、仏法を伝える手法自体が今まで通りにはできない時代へと放り込まれた感覚に陥りました。それまでのグローバル化の流れに急ブレーキがかかり、まるで世界中が鎖国を行なつてゐるかのごとく人の流れは止まり、さらに深刻なことにして人と人との繋がり、ふれあいや出会いといった身近な交流にも高い障壁ができてしまひ、グローバルでもローカルでも人の社会的営みにストップがかかってしまひました。つまり宗教活動に大きな制約が課せられたのです。特に古くからの大檀家制度が無く、僧侶と信徒との信頼関係が重要である開教活動においては、地域独自の苦悩や不安を抱えておられることが存じます。

改めて申すことではありませんが、信仰は個人の精神的支柱となります。コロナ禍の生活でも必ず人々の生きる道標となるのです。そもそも現世は無常であり、コロナ等の疫病も無常を感じる

一つの事象であることを我々僧侶は知っています。そして無常を憂いどんなときであつても変わらず極楽往生を信じ念佛を称えるのが我々浄土宗であります。しかし、信仰心は一人で芽生え育つものではありません。法然上人が多くの弟子や在家信者と言葉を交わし、手紙をしたため念佛をお勧めになつたように、人を介して人へと伝わつていくものが信仰です。皆が不安を抱えるこの状況において、念佛布教こそが人々を救い導く道だと信じております。今は苦しい時でありますが、共に食いしばり、踏みどどまり、決して諦めず、創意工夫を重ねて、各地各立場で出来ることを着実に進めて参りましょう。

南米開教区においては佐々木良法総監勧進のもと、クリチバ日伯寺の建立事業が令和5年の南米開教70周年に向けてすでに動き出しております。平成20年に1軒の借家からはじまり、日本よりご本尊を招来、五重相伝を開筵、受者の中から開教使を志す人物が生まれるという開教の歴史を着実に積み重ね、ついに本堂建立に至る道。地球の反対側まで念佛の声が広がっていることを法然上人はお喜び下さつてることと存じます。是非、日本からのご支援の輪を拡げていただきますよう重ねてお願い申しあげます。

## 会員名簿

■原則として功績点付与者を  
掲載しています。

## 名譽会員 (所属は納入時)

[教区/組]

[寺院名] [氏名]

福岡	兵庫	大阪	京都	滋賀	石川	岐阜	三河	静岡	長野	埼玉	東京	神奈川	茨城	宮城	青森	山形	北
宗像	武崎	東南	東	相坂	鴨川	湖南	浅野川	高須	城北東	北部	第三	小田原	北	常總	中央	上	下
教安	觀音寺	大林寺	一心寺	西方寺	玄門寺	圓滿寺	上善寺	實相寺	來迎寺	春光院	道場院	弘經寺	弘經寺	稱念寺	本覺寺	西方寺	第一
橋本	木池	鶴田	山村	木村	高口	若菜	牧	浅井	石川	加藤	高木	中村	服部	都築	北川	池田	金田
定雄	達雄	昭信	幹夫	祥隆	良成	恭行	俊夫	達一	孝朗	一宣	康徳	徳瑞	正博	邦雄	順也	冬彦	隆敏
雄	信彦	法雲寺	嘉辰	美敏	秀信	亥	成	隆	道典	秀良	滋浩	知	弘明	昭仁	玄教	章信	紫法
孝	雄	願台寺	玄門寺	雄宣	雲	美	成	雄	道	良	明	明	昭	仁	玄教	雅	祐德
美	寛道	寶輪寺	圓滿寺	雄昭	弘	祐	道	実	雄	信	昭	好	元	教	雅	昭	之
寛	道	寺	寺	雄	信	彦	成	雄	信	彦	玄	教	玄	教	雅	祐	弘
道	史	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	明	明	昭	仁	玄	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥	玄	教	玄	教	雅	祐	男
史	雄	寺	寺	雄	信	亥	成	雄	信	亥</							





伏見

龍岸寺 福田寺 極樂寺 地藏寺 方稱寺 福元院  
方寺 極樂寺 地藏寺 聲院 広見寺 高山寺 香林寺  
寶藏院 永壽院 咸豐寺 高山寺 香林寺  
宗蓮寺 超勝院 淳祐寺 高山寺 香林寺  
吟松寺 淨光寺 石像寺 智惠光院  
招善寺 淨光寺 瑞雲寺 慶善寺  
西向寺 普福寺 淨光寺 慶善寺  
宗蓮寺 超勝院 淳祐寺 高山寺 香林寺  
吟松寺 淨光寺 石像寺 智惠光院  
招善寺 淨光寺 瑞雲寺 慶善寺  
西向寺 普福寺 淨光寺 慶善寺  
護念寺 親緣寺 隨念寺 報土寺  
瑞雲寺 普福寺 淳祐寺 高山寺 香林寺  
護念寺 親緣寺 隨念寺 報土寺  
地藏院 善福寺 松原寺 浄円寺 福寿院  
五劫院 善福寺 松原寺 浄円寺 成等院  
勝巖院 善福寺 松林寺 西正寺 祐正寺  
竹林寺 善福寺 松林寺 西正寺 莲乘寺  
常安寺 善福寺 松林寺 西正寺 莲乘寺  
誠心寺 善福寺 松林寺 西正寺 莲乘寺

池口正路恒原川稻岡大橋田屋土吹士林寺尾  
吉水小田切石原喜早西原本菅原森野原藤加藤  
荒木原藤原見塩原藤原國枝西原本喜早  
水谷伊藤木津木原藤原前田立田五島城岩山  
浦田澤崎山田石橋葉村上登井

弘憲龍法智誠哲雄良將  
眞恒俊光圭悟敏幸  
和教正樹裕人昌典尚楓信昭芳誠歛學浩之要津直樹善  
承爾

宇治

洛南

正覺院	西方寺	唯心寺	西方寺	惠福寺	常泰寺	常念寺	光月院	常運院	正法寺	觀音寺	常泰寺	常念寺	光月院	常運院	正法寺	觀音寺
					福應寺	西念寺	法泉寺	寶圓寺	光傳寺	龍源寺	勝念寺	三寶寺	西光寺	大信寺	來蓮寺	常念寺
					極樂寺	大念佛寺	三緣寺	淨貞院	本光寺	西運寺	淨雲寺	西岸寺	西岸寺	阿弥陀寺	松林院	正法寺
					福王寺	圓通寺	永福寺	海德寺	戀塚寺	應生寺	是住院	是住院	是住院	是住院	是住院	觀音寺
					大圓寺	圓通寺	光應寺	應生寺	光傳寺	圓通寺	圓通寺	圓通寺	圓通寺	圓通寺	圓通寺	圓通寺

南城

相樂

長念寺	阿弥陀寺	極樂寺	極樂寺	長福寺	西願寺	應源寺	光華寺	華臺寺	淨安寺	專念寺	福王寺	蓮台寺	阿弥陀寺	西方寺
弘光寺	三縁寺	極樂寺	極樂寺	西福寺	西福寺	西福寺	西方寺	西方寺	西方寺	圓福寺	正光寺	淨音寺	因性寺	金品寺
念寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺
光寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺
寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺
東	森	伊	櫟	板	德	大	川	家	西	三	大	小	樺	高志
	田	田	塚	倉	光	橋	塚	田	山	大	野	松	浦	盛田

丹後

船桑

龜岡

嵯峨

安養寺 安樂寺 極樂寺 深廣寺 龍福寺 西生寺 極樂寺 深廣寺  
安樂寺 安樂寺 極樂寺 深廣寺 龍福寺 西生寺 極樂寺 深廣寺  
西福寺 西福寺 西福寺 西福寺 西福寺 西福寺 西福寺 西福寺  
正覺寺 正覺寺 正覺寺 正覺寺 正覺寺 正覺寺 正覺寺 正覺寺  
福景寺 福景寺 福景寺 福景寺 福景寺 福景寺 福景寺 福景寺  
尊故院 尊故院 尊故院 尊故院 尊故院 尊故院 尊故院 尊故院  
導行寺 导行寺 导行寺 导行寺 导行寺 导行寺 导行寺 导行寺  
慰禪寺 慰禪寺 慰禪寺 慯禪寺 慯禪寺 慯禪寺 慯禪寺 慯禪寺  
往生院 往生院 往生院 往生院 往生院 往生院 往生院 往生院  
善福寺 善福寺 善福寺 善福寺 善福寺 善福寺 善福寺 善福寺  
長泉寺 長泉寺 長泉寺 長泉寺 長泉寺 長泉寺 長泉寺 長泉寺  
西光寺 西光寺 西光寺 西光寺 西光寺 西光寺 西光寺 西光寺  
圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺  
小松寺 小松寺 小松寺 小松寺 小松寺 小松寺 小松寺 小松寺  
阿弥陀院 正定院 念佛寺 德林寺 福景寺 福景寺 福景寺 福景寺  
念佛寺 念佛寺 德林寺 福景寺 福景寺 福景寺 福景寺 福景寺  
圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺 圓通寺  
大圓寺 大圓寺 大圓寺 大圓寺 大圓寺 大圓寺 大圓寺 大圓寺  
東寂寺 東寂寺 東寂寺 東寂寺 東寂寺 東寂寺 東寂寺 東寂寺  
淨福寺 淨福寺 淨福寺 淨福寺 淨福寺 淨福寺 淨福寺 淨福寺  
願生寺 教傳寺 天然寺 天然寺 天然寺 天然寺 天然寺 天然寺  
安樂寺 法鶯寺 天然寺 天然寺 天然寺 天然寺 天然寺 天然寺

嵐嵐田加田中藤中小泉元北元大澤平田上田前田上田井田小塚原田大澤原田半原藤久安藤森内藤水野吉田成田大田鈴木賀幡山根佐々木西村登田早喜壹豐成平尾石津

西清

生玉

大江

相日有

奈良

源光寺	光明寺	法泉寺	增福寺	光聖寺	大雲寺	西光院	圓通寺	銀山寺	大善寺	長德寺	西光寺	寶巖寺	天然寺	聖德寺	榮昭院
					阿日寺	奧院	極樂寺	常谷寺	本願寺	極樂寺	常谷寺	極樂寺	常谷寺	常谷寺	常谷寺
					吉祥寺	西蓮院	法喜寺								
					安染寺	寶樹寺	極樂寺	萬福寺							
					哀愍寺	大圓寺	淨光寺	金臺寺	光明寺	西照寺	幸念寺	法泉寺	光聖寺	大善寺	大雲寺

古寺中島三宅羽瀬森本紀氏  
牛田細川小野山本  
大川小川山本  
大橋川中細川柴山  
大澤中谷鹽路  
鷺尾中谷  
神田中村  
中村山下  
飯田伊藤  
川村  
中村  
飯田  
山下  
齊藤  
上田  
片山  
長岡  
秋田  
津留  
相原  
安達  
西島  
末高  
柴田  
江崎  
江崎  
金澤  
龟井

東	北	河	第一 河南	東清堀
天滿	北摶	河北	堤 第二 河南	念佛寺 實相寺
大信寺	東摶			天性寺 誓福寺
長德寺				誓安寺 大善寺
九品寺				洞應寺 心眼寺
奧之坊				太陽寺 天乳寺
壽松院				太陽光寺 川久保
蟠龍寺				岩野寺 辻本橋
妙香院				萱野山 日比野
西福寺				萱野山 西田
源光寺				得山 克實昭
提法寺				清彥昭
興樂寺				忠也
常福寺				忠基
淨福寺				浩裕昭
長樂寺				善浩昭
考園寺				忠之
淨國寺				裕浩昭
安樂寺				忠也
西觀音寺				克實昭
慧光院				正進昭
法藏寺				順功昭
遍尊寺				忠和昭
正念寺				惠三昭
觀音寺				純三昭
臺鏡寺				皇圓昭
淨土院				立德昭
長福寺				忠和昭
真稱寺				忠和昭
長福寺				忠和昭
來稱寺				忠和昭
菩提寺				忠和昭
宗宅寺				忠和昭
赤木末高	真野松本	小倉松原	岡田法永	念佛寺
			北浦永林	實相寺
			西田	誓福寺
			小林	誓安寺
			秦	大善寺
			磯	洞應寺
			部	心眼寺
			田	太陽寺
			渡	天乳寺
			足	太陽光寺
			立	川久保
			藤	岩野寺
			小	辻本橋
			川	萱野山
			久	日比野
			保	西田

兵庫

鳥取

良文徹真弘章  
和英善晋彰宏  
光順行昭幹郎  
義篤宏瑞真宏  
龍雲真尊英  
裕宗司崇史  
淨祐達郎  
禱堂慶成  
芳典惠裕  
智全孝生  
謫雅賢瑞  
隆彥直哉  
昌和廣道  
無量隆康  
禱堂廣道  
好彥真平  
幹雄慶成  
裕宗司崇史  
淨祐達郎  
義篤宏瑞真宏  
龍雲真尊英  
裕宗司崇史  
淨祐達郎  
禱堂慶成  
芳典惠裕  
智全孝生  
謫雅賢瑞  
隆彥直哉  
昌和廣道  
無量隆康

石見	岡山	大田	江津	浜田	伯耆	大田	福城寺	藤長寺	誓願寺	正信寺	成道寺	大信寺	泰安寺	誕生寺	十念寺	三上工藤	
愛媛	南海	山口	広島														
宇和島 宇和島	松山	東予	高知	長西	香川	長西	長東第二	西部	東部	備前	備前	総社	笠岡	倉敷	特別寺院 美作	工藤	
正覚寺 正覺寺	正淨寺 正淨寺	正建寺 正建寺	正泉寺 正泉寺	正蓮寺 正蓮寺	正光寺 正光寺	正榮寺 正榮寺	正善寺 正善寺	正念寺 正念寺	正稱寺 正稱寺	正願寺 正願寺	正圓寺 正圓寺	正壽院 正壽院	正福寺 正福寺	正壽寺 正壽寺	正智寺 正智寺	正大寺 正大寺	
光明寺 光明寺	淨榮寺 淨榮寺	淨築寺 淨築寺	淨真寺 淨真寺	淨善寺 淨善寺	淨念寺 淨念寺	淨願寺 淨願寺	淨稱寺 淨稱寺	淨東寺 淨東寺	淨圓寺 淨圓寺	淨常寺 淨常寺	淨福寺 淨福寺	淨壽院 淨壽院	淨福寺 淨福寺	淨壽寺 淨壽寺	淨法寺 淨法寺	淨忠寺 淨忠寺	
室市 室市	中隈 中隈	永高 永高	隈財 隈財	溝瀧 溝瀧	上泉 上泉	原 原	川村 川村	塚井 塚井	江津 江津	加藤 加藤	佐藤 佐藤	仁保 仁保	高橋 高橋	山村 山村	中川 中川	松本 松本	漆間 漆間
川 川	村 村	塚 塚	井 井	江 江	津 津	上 上	原 原	野 野		加 加	用 用	加 加	用 用	佐 佐	伯 伯	梨 梨	無垢品 無垢品

福岡	佐賀	長崎	熊本	三州
鞍手	宗像	柏屋	東筑	沖縄
福岡	佐賀	長崎	大分	宮崎
福岡	西日本	平戸	鹿児島	第四
常宝寺	大善寺	諫早	第二島	第三
長徳寺	正覺寺	佐賀	五島	昌
常念寺	心寺	福岡	第一島	法
地福寺	寺	佐賀	第二島	常照寺
大音寺	寺	福岡	第三島	圓福寺
淨空寺	寺	佐賀	第四島	三海德寺
能登原	裏辻	福岡	第五島	法華寺
後根村	江藤原	佐賀	第六島	正覺寺
能登原	佐賀	福岡	第七島	願寺
下部	佐賀	佐賀	第八島	福寺
江藤原	佐賀	佐賀	第九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第二十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第三十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第四十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第五十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第六十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第七十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第八十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十一島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十二島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十三島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十四島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十五島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十六島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十七島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十八島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第九十九島	本願寺
佐賀	佐賀	佐賀	第一百島	本願寺

# 教化ツールとしてのインターネット — 海外開教と国内教化の現場で —

日 時：令和2年2月13日(木)

13時～16時30分

会 場：大本山増上寺 慈雲閣

パネリスト

笠原 泰淳（東京教区林海庵住職）

土屋 正道（東京教区觀智院住職）

井上 広法（栃木教区光琳寺副住職）

コーディネーター

名和 清隆（浄土宗総合研究所研究員）



カンファレンス当日の様子は  
左記QRコードより  
全編ご視聴いただけますので  
是非ご覧ください。



開教公開カンファレンス  
～未来の布教へのヒント～  
教化ツールとしてのインターネット  
～海外開教と国内教化の現場で～

## 第10回を迎える今回の開教

公開カンファレンスは「教化ツールとしてのインターネット」というテーマを設けて開催。

今や国内外問わず生活に欠かすことのできない存在となつて、その教化ツールとしての可能性について議論する場となつた。

議論に先立ち、浄土宗総合研究所研究員、名和清隆師より、宗勢調査の結果を基に浄土宗寺院におけるインターネットを用いた活動やホームページ開設率についての紹介があつた。

続いて一人目パネリスト、笠原師より、海外の居住者に対する取り組みの報告があつた。笠原師はインターネットを通じ、動画配信や交流を盛んに行つて、「odo Talk」と題した法話の動画配信、Zoomを使った活動や、SNSでの交流を通じて浄土宗の信者となることを希望した方には、正式な儀式ではないと断つたうえで「Online Kiyoshiki（オンライン帰敬式）」を実施している。笠原師はインターネットのメリットに

ついて、点在する信徒間を結ぶことができ、寺院に足を運ばなくて済む、コミュニケーション感覚を共有可能な点にあると述べた。

二人目の土屋師は、大本山増上寺などを会所として行つて報告した。24時間不断念佛会は2006年に開始され、開始当初から世界各地と双方

向のインターネット中継を行つており、今では日本国内や海外開教寺院の参加のみならず、ドイツ、アメリカ、ネパールなどからも個人的に参加されるというような広がりを見

せており、インターネットによつて世界各地の人とお念佛でつながることは、物理的な距離を超えて宗教的空間を共有するという感動を味わえるとともに、自分自身がお念佛を唱える動機付けにもなつていると土屋師は述べた。

休憩後はフロアを交えたパネルディスカッションが行われた。その中ではネットを活用する事の有用性を確認すると共に、ネットリテラシーの課題も紹介された。

三人目の井上広法師は、共同代表を務める「hasunoha（ハスノハ）」における活動を紹介した。hasunohaはインターネットによる相談サイトで、現在では宗派を超えた280名以上の僧侶が回答者として登録、

その累計相談数は数万件に及ぶ。現在ではZoomを利用し、僧侶と相談者が直接インターネット上で対話可能な「hasuno haオンライン個別相談」も開始されている。一方でネット上でのやり取りが発達した現在においても、いざという時は直接的な対面で宗教的なメッセージを伝えることも大切なのではないかと井上師は述べた。

そのほか3師の事例発表に

加えて、コーディネーターよりハワイ開教区におけるYouTubeを利用した法話や法事の事例も紹介された。

休憩後はフロアを交えたパネルディスカッションが行われた。その中ではネットを活用する事の有用性を確認すると共に、ネットリテラシーの課題がリアルのご縁につながる実例など、数多く議論が行われた。本カンファレンスは布教における今後のインターネット利用を考えるうえで、大きな収穫を得る議論の場となつた。

## 令和元(平成31)年度事業報告

### 協会事業

#### ①出版事業

- ・開教振興協会会報『開教』第37号発行 ..... 8,000部
- ・『Pure Land Life』(英語版)第33号発行 3,000部
- ・「浄土宗月訓カレンダー」  
ポルトガル語版発行(南米開教区へ) ..... 4,000部

#### \*浄土宗から贈呈\*

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| ・月訓カレンダー | ハワイ開教区 ..... 425部      |
|          | 北米開教区 ..... 330部       |
|          | オーストラリア開教地 ..... 60部   |
|          | フランス開教地 ..... 30部      |
|          | 国内開教地域(2ヶ寺) ..... 100部 |
| ・宝曆      | ハワイ開教区 ..... 31部       |
|          | 北米開教区 ..... 80部        |
|          | オーストラリア開教地 ..... 60部   |
|          | フランス開教地 ..... 30部      |
|          | 国内開教地域(2ヶ寺) ..... 100部 |

#### ②推進協力事業

##### 1. 国内開教地域への支援

- ①浄土宗新聞・行事シリーズ・かるな・てらこやブックス配布  
次の指定地域に対し、指定解除まで無償配布
- 令和元(平成31)年度
  - 茨城県小美玉市及びその近郊  
(堤 忠春師 清淨院 3期目)
  - 沖縄県豊見城市及びその近郊  
(大和田聖二師 聖蓮寺 3期目)

##### 2. 海外開教区・開教地への支援

- ①ハワイ開教区  
ハワイ開教125周年記念事業
- ②南米開教区  
訪問布教推進事業(車両購入)
- ③オーストラリア開教地  
写仏会用物品購入助成、七五三法要物品購入助成  
(後援)  
令和元年11月7日(木)浄土宗南米開教区主催で佐々木陽明前開教総監を偲ぶ会を開催。総本山知恩院御堂にて第1部「追悼法要」を、京都ホテルオークラにて第2部「お別れの会」を執り行った。

#### ③その他事業

##### 第10回開教公開カンファレンス

- 日 時 令和2年2月13日(木)  
午後1時30分～5時  
会 場 大本山増上寺 慈雲閣  
テマ 「教化ツールとしてのインターネット  
—海外開教と国内教化の現場で—」

令和元(平成31)年度	
名 誉 会 員	0 名
贊 助 会 員	0 名
正 会 員	1,027 名

指定期付納入者	[教区]	[組]	[寺院名]	[氏名]	[金額]
神奈川	東京	大阪	小田原	常光寺	阿川 文叡
長野	東京	生玉	光聖寺	香福寺	滝沢 圭隆
東京	八王子	林海庵	秋田 光哉	笠原 泰淳	一〇〇,〇〇〇円
フランス・オーストラリア開教地へ					一一〇,〇〇〇円

(所属は納入時) (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

## 浄土宗開教振興協会役員名簿

令和3年2月末現在

役職	氏名	教区・役職	所属寺院
会 長	川中 光教		宗務総長
副 会 長	宮林 雄彦		宗務役員
	杉山 俊明	千葉	淨國寺
理 事 長	樋口 英信	福岡	長徳寺
副理事長	田中 康道	尾張	雲谷寺
常務理事	新谷 仁海	東京	功德林寺
	笠原 泰淳	東京	林海庵
	山北 光彦	大阪	慧光院
理 事	前田 晃秀	滋賀	若王寺
	永江 憲昭	福岡	一心寺
	高橋 宗憲	北海道第二	長專寺
	武田 真和	岩手	吉祥寺
	高橋 誠実	東京	無量寺
	山下 法彦	伊勢	樹敬寺
	吉田 悅應	福井	大寶寺
	工藤 純裕	鳥取	誓願寺
	大江田 紘義	宮城	西方寺
監 事	土屋 正道	東京	観智院
	中村 在徹	愛媛	淨念寺

令和元(平成 31)年度  
浄土宗開教振興協会歳入歳出決算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

**基本資金部【歳入の部】**

(単位:円)

款項	目	令和元(平成31)年度 予算額	令和元(平成31)年度 決算額	予算額との 比較増減	節	決算節金額	摘要
1. 会費収入		0	0	0			
1. 特別会費収入		0	0	0			
1. 名誉会員会費収入		0	0	0	1. 名誉会員会費	0	100万円×0人
2. 賛助会員会費収入		0	0	0	1. 賛助会員会費	0	20万円×0人
2. 積立金受入収入	154,010,000	154,010,000	0				
1. 積立金受入収入	154,010,000	154,010,000	0				
1. 積立金受入収入	154,010,000	154,010,000	0		1. 積立金受入金	154,010,000	
3. 収済金収入		0	0	0			
1. 貸付金返済収入		0	0	0			
1. 貸付金返済収入		0	0	0	1. 国内開教指定寺院 貸付金返済金	0	
4. 繰入金		0	0	0			
1. 運用資金部繰入金		0	0	0			
1. 運用資金部繰入金		0	0	0	1. 運用資金部繰入金	0	運用資金部からの繰入金
<b>歳入合計</b>	<b>154,010,000</b>	<b>154,010,000</b>	<b>0</b>				

**基本資金部【歳出の部】**

(単位:円)

款項	目	令和元(平成31)年度 予算額	令和元(平成31)年度 決算額	予算額との 比較増減	節	決算節金額	摘要
1. 積立金積立		154,010,000	154,010,000	0			
1. 積立金積立		154,010,000	154,010,000	0			
1. 積立金積立		154,010,000	154,010,000	0	1. 積立金積立	154,010,000	令和元(平成31)年度末の積立金額
2. 貸付金支出		0	0	0			
1. 貸付金支出		0	0	0			
1. 貸付金支出		0	0	0	1. 奨学貸付金	0	
					2. 開教区貸付金	0	
					3. 国内開教貸付金	0	
					4. 運用資金部貸付金	0	
<b>歳出合計</b>	<b>154,010,000</b>	<b>154,010,000</b>	<b>0</b>				

**運用資金部【歳入の部】**

(単位:円)

款項	目	令和元(平成31)年度 予算額	令和元(平成31)年度 決算額	予算額との 比較増減	節	決算節金額	摘要
1. 会費収入		11,500,000	10,270,000	△ 1,230,000			
1. 正会員会費収入		11,500,000	10,270,000	△ 1,230,000			
1. 正会員会費収入		11,500,000	10,270,000	△ 1,230,000	1. 正会員会費	10,270,000	会員 1027 名
2. 寄付金収入		400,000	420,000	20,000			
1. 特別寄付金収入		400,000	420,000	20,000			
1. 特別寄付金収入		400,000	420,000	20,000	1. 一般寄付収入	20,000	2 件 ハワイ 1 件、オーストラリア 1 件、 フランス 1 件
				0	2. 指定寄付収入	400,000	
3. 財産運用収入		1,100	28,625	27,525			
1. 資金運用収入		1,100	28,625	27,525			
1. 預貯金利子収入		1,100	28,625	27,525	1. 基本資金利子	28,601	
				0	2. 運用資金利子	24	
4. 雜収入		0	0	0			
1. 雜収入		0	0	0			
1. 諸収入		0	0	0	1. 諸収入	0	
5. 繰越金		21,353,323	21,353,323	0			
1. 繰越金		21,353,323	21,353,323	0			
1. 繰越金		21,353,323	21,353,323	0	1. 繰越金	21,353,323	平成 30 年度会計より
<b>歳入合計</b>	<b>33,254,423</b>	<b>32,071,948</b>	<b>△ 1,182,475</b>				

## 運用資金部【歳出の部】

(単位：円)

款項	目	令和元(平成31)年度予算額	令和元(平成31)年度決算額	予算額との比較増減	節	節金額	摘要
1. 会議費		2,550,000	2,438,280	△ 111,720			
1. 理事会		1,700,000	1,392,550	△ 307,450			
1. 理事会		1,400,000	913,298	△ 486,702	1. 理事会	913,298	2回(6/21、2/12)開催 旅費その他
2. 常務理事会		300,000	479,252	△ 179,252	1. 常務理事会	479,252	2回(7/31、9/3)開催 旅費その他
2. 監査会		50,000	48,900	△ 1,100			
1. 監査会		50,000	48,900	△ 1,100	1. 監査会	48,900	1回(5/23)開催 旅費その他
3. 企画委員会		800,000	996,830	△ 196,830			
1. 企画委員会		800,000	996,830	△ 196,830	1. 企画委員会	996,830	5回(5/16、10/4、10/29、10/31、12/20)開催 旅費他
2. 事業費		8,000,000	4,866,551	△ 3,133,449			
1. 出版費		3,400,000	2,653,352	△ 746,648			編集経費 / 印刷製本費その他
1. 会報発行費		1,000,000	734,800	△ 265,200	1. 開教発行費	734,800	『開教』第37号8,000部
2. 教化資料等出版費		2,400,000	1,918,552	△ 481,448	1. 英字冊子発行費	516,900	『Pure Land Life』第33号3,000部
2. 推進協力費		4,600,000	2,213,199	△ 2,386,801	2. 教化資料出版費	1,216,260	教化資料出版 / ポルトガル語版月刊カレンダー
1. 事業支援費		4,600,000	2,213,199	△ 2,386,801	3. 広報資料費	185,392	その他(含送料) 月刊カレンダー・宝曆賀上げ、その他
3. 特別指定寄付金		300,000	400,000	100,000			
1. 特別指定寄付金		300,000	400,000	100,000			
1. 特別指定寄付金		300,000	400,000	100,000	1. 特別指定寄付金	400,000	ハワイ、オーストラリア、フランス
4. 補助費		200,000	0	△ 200,000			
1. 補助費		200,000	0	△ 200,000			
1. 補助費		200,000	0	△ 200,000	1. 補助費	0	
5. 涉外費		100,000	152,480	52,480			
1. 涉外費		100,000	152,480	52,480			
1. 涉外費		100,000	152,480	52,480	1. 涉外費	152,480	涉外活動諸費用
6. 事務費		2,050,000	1,810,300	△ 239,700			
1. 事務費		800,000	619,135	△ 180,865			
1. 事務費		800,000	619,135	△ 180,865	1. 事務費	619,135	郵便送達費 / 振込手数料 / システム保守 / その他
2. 会員募集事務費		1,250,000	1,191,165	△ 58,835			
1. 教区還付費		1,150,000	1,027,000	△ 123,000	1. 教区還付費	1,027,000	教区事務費交付 1027×@1,000
2. 募集活動費		100,000	164,165	64,165	1. 募集活動費	164,165	
7. 總出金		0	0	0			
1. 基本資金部總出金		0	0	0			
1. 基本資金部�枞出金		0	0	0	1. 基本資金部�枞出金	0	基本資金部への�枞出金
8. 予備費		20,054,423	0	△ 20,054,423			
1. 予備費		20,054,423	0	△ 20,054,423			
1. 予備費		20,054,423	0	△ 20,054,423	1. 予備費	0	
歳出合計		33,254,423	9,667,611	△ 23,586,812			

本年度運用資金部の歳入総額は ￥32,071,948 である

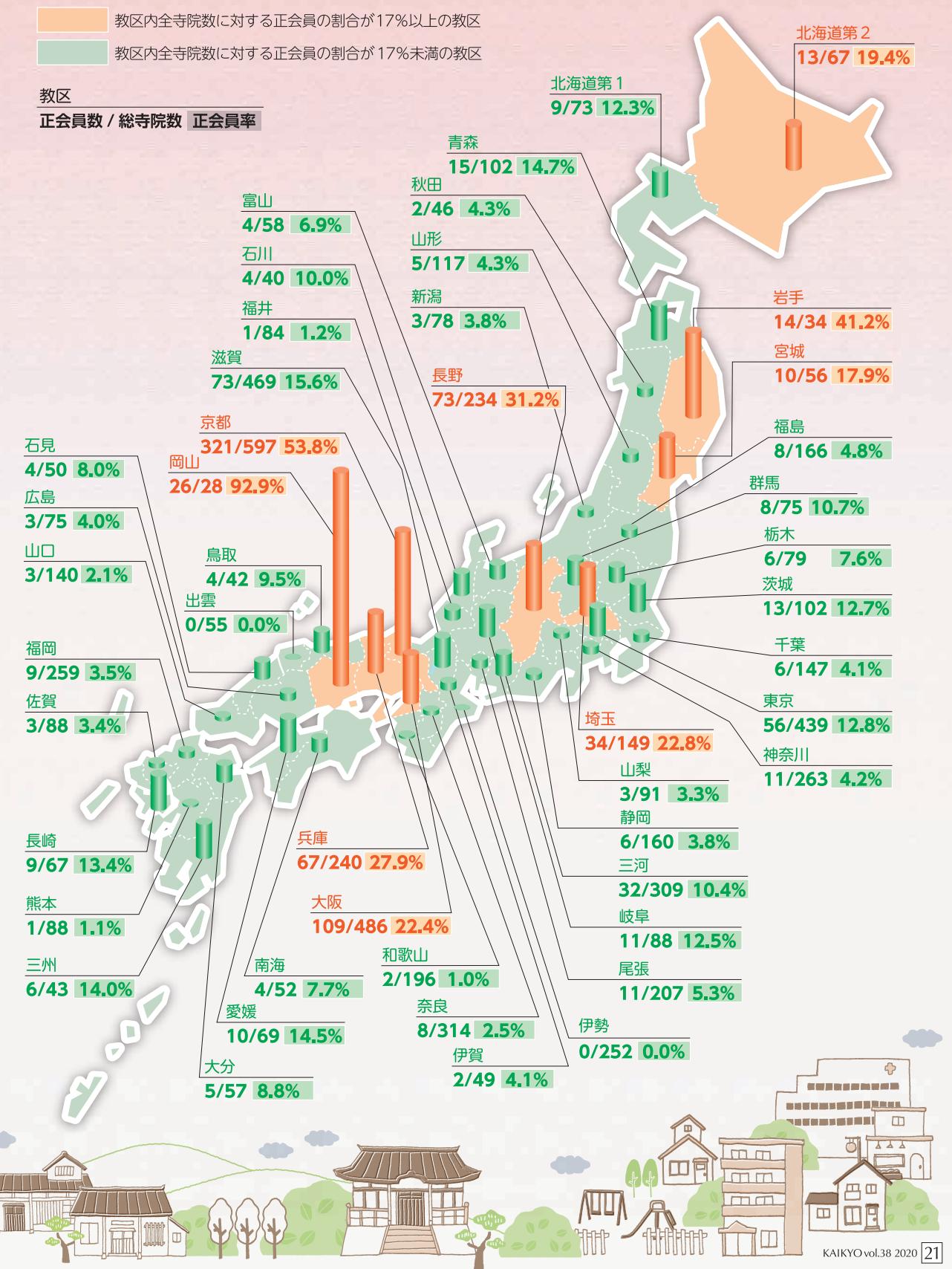
本年度運用資金部の歳出総額は ￥ 9,667,611 である

したがって、次の会計余剰金が生じたので、翌年度に繰り越す措置を取る

本年度の運用資金部余剰金 ￥22,404,337

# 令和元(平成31)年度 振興協会教区別会員数

会員数1,200(全寺院数の約17%)を  
目標としております。ご協力お願いいたします。



# 会員の声



## 海外開教や 開教振興協会への思い

浄土宗開教振興協会 田中 康道  
副理事長

浄土宗開教振興協会会報「開教」をご拝読頂き誠にありがとうございます。

小生十二年間、理事職を務めさせて頂いています。元ハワイと北米の開教使であります。

約半世紀前の昭和五〇年より十数年間、日系人の信者の方々と共に海外のお寺で開教使としての生活を経験させて頂きました。

それこそ二十代の青年僧が日本とは違う環境の中で味わう経験は、全てが新しいチャレンジであり、新鮮な体験の連続でした。

そしてこれ等の経験が今の自分の基に成り、開教区の信者の方々に育てて頂いたと思える感謝の気持ちを抱くことが出来る現在の自分があります。

僧侶の修行にも色々ありますが、海外開教区という特別な環境のなかでさせて頂けるのは素晴らしい事でありました。

既に百二十数年という浄土宗開教の歴史のなかで先輩開教使と家族の方々が築き守りぬいてきた開教区を、ぜひ今後も若い僧侶の修行の場として、また海外の信者の方々にお念仏の輪を更に広げて行く為にも、開教振興協会が増え発展して行くことを心より願っています。

合掌

小生十二年間、理事職を務めさせて頂いていま

す。元ハワイと北米の開教使であります。

約半世紀前の昭和五〇年より十数年間、日系人の信者の方々と共に海外のお寺で開教使としての生活を経験させて頂きました。

それこそ二十代の青年僧が日本とは違う環境の

中で味わう経験は、全てが新しいチャレンジであり、新鮮な体験の連続でした。

そしてこれ等の経験が今の自分の基に成り、開

教区の信者の方々に育てて頂いたと思える感謝の

気持ちを抱くことが出来る現在の自分があります。

僧侶の修行にも色々ありますが、海外開教区と

いう特別な環境のなかでさせて頂けるのは素晴らしい事でありました。

既に百二十数年という浄土宗開教の歴史のなかで

先輩開教使と家族の方々が築き守りぬいてきた開

教区を、ぜひ今後も若い僧侶の修行の場として、

また海外の信者の方々にお念仏の輪を更に広げて

行く為にも、開教振興協会が増え発展して行くこと

を心より願っています。

編集後記

当協会会員の皆様、関係ご寺院の皆様におかれましては、平素より格別なるご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。皆さまご高承のことと存じますが、当協会では、海外・国内における本宗開教活動の現状のご報告と、開教活動へのさらなるご支援を得ることを目的に、毎年、会報誌としてこの「開教」を発刊いたしており、この度第38号となる本号におきましても、各海外開教区・海外開教地・国内開教地での主な活動状況の報告や当協会主催事業について掲載させていただきました。

昨年7月、ハワイ開教区において開教活動にご尽力を賜りました、中野寛淳師がご遷化なされましたことは誠に残念なことでありました。中野師は、音楽の分野における専門知識を活かした念仏弘通と教線拡充に精励されました。中野師の

生前の多大なるご功績を偲びつつ、謹んで哀悼の意を表します。また、本年度は新型コロナウイルス感染拡大によつて、各

寺院へ多大なる影響がありました。行事の延期や中止、少人数での法要など、さまざまなもの制限があるなかで教化活動に取り組んでまいりました。

今後もより一層、各海外開教区・海外開教地・国内開教地の発展にご尽力を賜りますと幸甚に存じます。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

当協会では、本誌掲載のように海外・国内における様々な開教活動に対しその活動の一助となるべく、種々の支援を継続して行つております。

会員各位におかれましては、今後とも引き続いてのご支援

を賜りますようお願い申し上げますとともに、末筆となりま

したが、本号発刊にあたり、ご寄稿を賜りました諸師、編集に

ご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。

今後とも紙面充実を目指して参りますので、有縁の方々のご教導をよろしくお願ひ申し上げます。

合掌

開教 第38号

令和3年3月31日発行

編集 / 発行 浄土宗開教振興協会  
東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部内  
Tel.03-3436-3351 Fax.03-3434-0744  
制作 表紙・デザイン:株式会社 北陸スタッフ  
印刷:株式会社 共立社印刷所



## 浄土宗開教振興協会ご入会のお願い

浄土宗開教振興協会は、昭和51年の設立以来、開教活動を支援してまいりました。

海外開教については、既存の開教区に加えて、平成15年に海外開教地として指定されたオーストラリア、フランスの2地区に対しても支援しております。

また、国内開教についても、多くの国内開教使の活動に対して、平成15年より本格的に支援を開始しております。

新たにお念仏をひろめるための礎が徐々に、確実に進んでおりますが、国内外ともに、これらの事業を円滑に遂行させるためには、開教振興協会の正会員増加による活動資金の強化安定は絶対条件であります。当協会の支援活動を尚一層充実させるため、一人でも多くの教師諸大徳に「正会員」としてのご入会をお願い申し上げます。

※協会の会費・寄付は功績点が付与されます。

※ご入会の有無がご不明な方は、担当までお問い合わせください。

### ■ 本協会は 次の事業を行なっております

- ① 開教思想の普及徹底
- ② 開教事業の調査研究
- ③ 国内開教指定地域への助成
- ④ 海外開教区・開教地への助成
- ⑤ 開教使の養成

### ■ 会費の納入および 新会員の入会について

所属教区教務所を経てご納入またはご入会いただくか、下記の口座に直接ご納入くださるようお願い申し上げます。

寄付金および会費振込口座  
**郵便振替 00160-5-175767**  
**浄土宗開教振興協会**

### ■ 会員の種類

- ①**名譽会員** 本協会の基本資金として100万円以上の寄付をされた方・本協会に特に功労があり理事会で推薦された方
- ②**賛助会員** 本協会の基本資金として20万円以上の寄付をされた方
- ③**正会員** 本協会の運用資金として年額1万円の会費を納入された方

### ■ 功績点の付与

寄付金および会費については、次のように僧階の功績点が付与されます。

- ①**一般勧募寄付金**  
・20万円に対して1点
- ②**個人寄付金**  
・5万円に対して1点

【問合先】

浄土宗開教振興協会

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部内  
TEL.03-3436-3351 FAX.03-3434-0744